

平成 27 年度

事 業 報 告

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団

# 目 次

<b>第1 一 般 概 况 .....</b>	1
<b>第2 事 業 .....</b>	2
I. 海洋に関する博物館事業	
1. 「船の科学館別館展示場」の公開 .....	2
2. 屋外展示資料の保存整備 .....	2
3. ボランティアの受け入れ .....	2
4. 博物館の機能整備 .....	2
5. 将来計画の策定 .....	3
II. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業	
1. 海洋に関する科学知識の普及啓発活動 .....	4
2. 海の学びミュージアムサポート活動 .....	12
III. その他財団の目的達成に必要な事業	
1. 海洋及び船舶に関する研究 .....	19
2. 広報活動 .....	19
3. 諸施設の利用状況 .....	19
4. その他 .....	19
<b>第3 管 理 業 務 .....</b>	21
1. 基 本 財 产 .....	21
2. 役員・評議員 .....	21
3. 会 議 .....	22
4. 平成27年度における助成金の交付 .....	23
5. 平成28年度助成金の交付申請 .....	23
6. 諸願・届出 .....	24
7. 登 記 .....	24
8. 情 報 開 示 .....	24
9. 外 部 監 察 .....	25
10. 事 務 局 .....	25
11. 施 設 管 理 業 務 .....	25

## 第 1 一 般 概 況

公益財団法人日本海事科学振興財団(以下、「財団」という)は、海洋に関する科学知識について一般国民特に青少年に対しその普及を図り、もって海洋文化の発展に寄与することを目的に、日本財団よりボートレースの交付金による支援を得て、海洋に関する博物館事業及び海洋に関する科学知識の普及啓発事業を実施しているところである。

財団が公益財団法人に移行した平成25年4月に閣議決定された新しい海洋基本計画において、海洋に関する教育の総合的な支援体制を整備する観点から、学校教育と水族館や博物館等の社会教育施設との連携を促進することが謳われている。これは、博物館や水族館をはじめとする多くの社会教育施設は学校教育が行う海洋教育のサポーターとしての機能も期待されていることを表しており、財団の活動の方向性を判然とさせるものである。

本年度の海洋に関する博物館事業としては、船の科学館別館展示場において、「にっぽんの海」や「海をまもる」等のブース展示を設け、船舶模型や所蔵資料の一部を公開した。また、戦後の昭和31年から37年に初代南極観測船として活躍した“宗谷”を公開するとともに、敷地内の大型スクリュープロペラや灯台、戦艦“陸奥”主砲といった実物展示品により、歴史的遺産や本物に触れてこそ初めて味わえる感動を来館者に与えた。

もう一方の柱である海洋に関する科学知識の普及啓発事業については、財団設立以来、収集・作成してきた収蔵資料に関するデータをホームページ上で広く一般に公開するとともに、資料の貸し出しを積極的に行った。

また、インターネット等を介して感覚的に学び取る間接体験が多くなっている現在、子供たちが自然や本物に触れ、かかわり合う直接体験が重要となっていることから、プールを活用したカヌーの操船体験教室、並びに子供たちが多く訪れる夏休み期間中には、「船の科学館別館展示場」の展示資料をハンズオンキットに模様替えするとともに、海に触れる機会が少ない子供たちに、触れて動かすことのできる展示や工作実験教室を開催し、楽しみながら海や船、海の生き物について興味・関心を持つ機会を提供した。

さらに、「海の学びミュージアムサポート活動事業」として、全国の博物館・水族館・美術館等の社会教育施設が実施する企画展・特別展のほか、各種普及事業及び調査・研究等の海洋教育を意図した幅広い活動に対しサポートを行った。

今後においても、国内各地域における海洋に関する科学知識普及の拠点である博物館等社会教育施設との海洋教育ネットワークの拡充を図り、当館が海洋教育の中核的施設として広く認知されることを目指してまいります。

## 第 2 事 業

### I. 海洋に関する博物館事業

#### 1. 「船の科学館別館展示場」の公開

「船の科学館別館展示場」では、国連海洋法条約に基づく日本の海とその海を守るための取り組みを紹介する「にっぽんの海」や、「海を守る」と題した展示コーナーを中心に当館収蔵品の一部を公開して、海洋に関する科学知識についての普及啓発を図った。

入場者数	87, 683名
公開日数	310日
当館の休館日に伴う未公開日数	56日

#### 2. 屋外展示資料の保存整備

初代南極観測船“宗谷”等の屋外展示資料を公開するため、展示資料を適切に保存し、来場者への良好な見学環境を提供するための保守管理を行った。

##### ①初代南極観測船“宗谷”的一般公開

乗船者数	78, 695名
公開日数	309日
当館の休館日等に伴う未公開日数	57日

##### ②初代南極観測船“宗谷”船舶検査

実施日：平成27年12月14日

調査機関：関東運輸局東京運輸支局

内容：船舶安全法施行規則に基づく第一種中間検査

#### 3. ボランティアの受け入れ

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”的展示案内及び当館の催事の実施にあたりにボランティアの受け入れを行った。

登録者総数：108名

活動人員：延べ248名

活動期間：平成27年4月～平成28年3月

活動日数：116日

#### 4. 博物館の機能整備

船の科学館の適切な運営を図るために、施設運用保守管理、昇降機保守点検、消防設備点

検等を行った。

①施設運用保守管理

委託業者：(株)セントラルアメニティサービス

契約期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：施設の運用に係る諸設備の保守管理

②昇降機保守点検

委託業者：(株)日立ビルシステム

契約期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：エレベーターの保守点検業務

③消防用設備保守点検

委託業者：(有)ミナミ

契約期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：消防用設備の保守点検業務

④電話交換機保守点検

委託業者：(株)クリエイトコミュニケーションシステム

契約期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：電話交換機の保守点検業務

⑤受変電設備点検（本館特高部）

委託業者：東京電設サービス(株)

実 施 日：平成27年12月21日

内 容：本館受変電設備（本館特高部）の点検業務

⑥受変電設備点検（本館低圧部）

委託業者：(株)きんでん

実 施 日：平成27年12月21日

内 容：本館受変電設備（本館低圧部）の点検業務

## 5. 将来計画の策定

財団が立地する臨海部の東京ベイゾーンにおいては東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が多数計画され、また、船の科学館に至近の水面に、平成31年の供用開始を予定する新客船埠頭を建設する計画が東京都から発表されるなど、周辺地域の開発は著しく進捗することが予想されることから、国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行った。

## II. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業

### 1. 海洋に関する科学知識の普及啓発活動

船の科学館が開館以来収集・作成してきた資料や展示物等を現在実施している事業で活用するとともに、収蔵品データベースの公開を行った。

また、海洋への興味・関心を喚起することを目的に、プールを利用したカヌー操船体験教室を開催したほか、関係機関との連携事業等を実施した。

#### (1) 収蔵品データベースの公開

収蔵品データベースの一部を財団ホームページ内「収蔵資料検索システム」において広く公開した。

#### (2) 海の学びシートの製作及び配布

主に小学生を対象として、海洋に関する科学知識を効果的に普及するための副教材「わくわくマリンK i d s～海の不思議に挑戦！～」（海の学びシート）を新たに製作し別館展示場での配布及びホームページに掲出した。

##### ①海の学びシート N o . 1

制作仕様：A3判 両面4C 二つ折り

制作部数：13,000部

テーマ：知ってる？青くてしょっぱい海のこと

##### ②海の学びシート N o . 2

制作仕様：A3判 両面4C 二つ折り

制作部数：3,000部

テーマ：知ってる？海で会える生き物の不思議

#### (3) 資料の受入

##### ①新山美奈氏

受入資料：南極観測で使用した「ジュラルミン・ケース」 1点

#### (4) 資料の貸出

##### ①島根県立古代出雲歴史博物館

貸出資料：鎌倉時代の準構造船 模型

貸出期間：平成27年3月1日～5月23日

##### ②日本郵船歴史博物館

貸出資料：二式大型飛行艇精密解剖図他9点

貸出期間：平成27年3月5日～平成28年7月10日（予定）

##### ③公益財団法人三笠保存会

貸出資料：船舶模型戦艦“三笠”他1点

貸出期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

④三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星 22 型エンジン 2 基

貸出期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

⑤警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：油彩絵画「八丈島神湊漁港」（額付）他 2 点

貸出期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

⑥陸奥の会

貸出資料：船舶模型戦艦“陸奥”（アクリル製ケース付）

貸出期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

⑦神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館

貸出資料：船舶模型「原子力船“むつ”（縮尺 1/100）」（ガラスケース付）

貸出期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

⑧NHK制作局 第 1 制作センター（文化・福祉）

貸出資料：“開南丸”模型（縮尺 1/50）

貸出期間：平成 27 年 4 月 23 日～24 日

⑨「北前船」展実行委員会（委員長：新潟県立歴史博物館長）

貸出資料：松前船船中議定覚（船中議定手檄書帳）嘉永 6 年

貸出期間：平成 27 年 7 月 1 日～11 月 30 日

⑩一般財団法人 清水港湾博物館（フェルケール博物館）

貸出資料：弁才型船設計図 他 27 件 49 点

貸出期間：平成 27 年 7 月 4 日～9 月 18 日

⑪第 20 回「海の日」記念特別展実行委員会

貸出資料：遣唐使船 模型（解説板付）他 11 点

貸出期間：平成 27 年 7 月 15 日～8 月 11 日

⑫沖縄県立博物館・美術館指定管理者 文化の杜共同企業体

貸出資料：ヘルメット潜水機 潜水服 他 6 点

貸出期間：平成 27 年 7 月 17 日～9 月 9 日

⑬国土交通省海事局総務課海事振興室

貸出資料：船舶比較模型“春日丸”（コンテナ船）他 3 点

貸出期間：平成 27 年 7 月 28 日～31 日

⑭青函連絡船史料研究会

貸出資料：青函連絡船“羊蹄丸”航海日誌 他 6 点

貸出期間：平成 27 年 8 月 1 日～12 日

⑮今治市教育委員会（今治市村上水軍博物館）

貸出資料：船舶模型 安宅型軍船（縮尺 1/20）

貸出期間：平成27年9月8日～11月27日

⑯千葉県立関宿城博物館

貸出資料：船舶模型 弁財船

貸出期間：平成27年9月10日～12月18日

⑰茨城県立歴史館

貸出資料：船舶模型 “咸臨丸”（1/50）他3点

貸出期間：平成27年10月1日～11月26日

⑱日本海洋学会教育問題研究会

貸出資料：「海と船の巡回展」：親子をさがせ、進化する船たち

貸出期間：平成27年11月14日～15日

⑲トーハツ株式会社

貸出資料：トーハツOB型船外機

貸出期間：平成27年11月19日～26日

⑳株)ハセガワ

貸出資料：二式大型飛行艇 主翼外板（点検扉）他18点

貸出期間：平成27年12月10日～平成28年12月31日（予定）

㉑国立大学法人東京海洋大学附属図書館

貸出資料：雲鷹丸設計図面他22点

貸出期間：平成27年12月15日～平成28年3月11日

㉒発泡スチロール協会

貸出資料：南極「昭和基地」断熱パネル

貸出期間：平成28年1月22日～3月8日

㉓公益財団法人東日本鉄道文化財団 鉄道博物館

貸出資料：国鉄青函連絡船 寝台用毛布

貸出期間：平成28年2月19日～7月15日（予定）

㉔トーハツ株式会社

貸出資料：トーハツOB型船外機

貸出期間：平成28年2月25日～3月9日

㉕公益財団法人 竹中大工道具館

貸出資料：絵図 日本形北前船図他4点

貸出期間：平成28年3月19日～6月10日（予定）

（5）写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。

59件165点

## (6) 資料の借用

### ①東京国立博物館

借用資料：船舶模型 “麒麟丸” 他 14 点

借用期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

### ②鉄道博物館

借用資料：船舶模型 千石船（半割）他 6 点

借用期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

### ③株商船三井

借用資料：船舶模型 “報国丸” 他 2 点

借用期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

### ④山高 登氏

借用資料：黄海海戦で奮戦する “赤城” 油彩画他 30 点

借用期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

### ⑤東京都産業労働局

借用資料：沖ノ鳥島紹介 D V D 「知っていますか？沖ノ鳥島の秘密」

借用期間：平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月 31 日

## (7) 催事等の開催

### ①企画展示「春 桜がにあう和船たち」

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成 27 年 5 月 3 日～5 日

3 日間

開催場所：船の科学館本館 1 階ロビー

入場者数：4,363 名

### ②「海と船のおはなし会」

「海洋」をテーマとした絵本の読み聞かせを一般来館者向けに実施し、あわせて当館学芸員による「絵本」のテーマや別館展示場にある展示資料に関連した内容のミニギャラリートークを行った。

・開催日：平成 27 年 5 月 3 日

テーマ：「赤い灯台」

参加者数：55 名

・開催日：平成 27 年 7 月 20 日

テーマ：「ふなひき太良」

参加者数：50 名

・開催日：平成 27 年 8 月 16 日（海の学び舎・わくわくキッズパーク内）

テーマ：「ふなゆうれい」

参加者数：40名

・開催日：平成27年10月12日

テーマ：「ちいさな赤いとうだい」

参加者数：35名

・開催日：平成27年12月23日

テーマ：「いるかのジャック」

参加者数：14名

・開催日：平成28年3月20日

テーマ：「チムとうだいをまもる」

参加者数：28名

※参加者数合計 222名（全6回）

#### ③カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、船舶の浮力や復元性などの特性を実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

また、本年度から杉並海洋少年団による体験教室参加者へのライフジャケットの着用指導や操船方法指導補助、安全監視などを活動の一環として実施した。

開催期間：平成27年5月・6月・7月・9月・10月 5回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：296名

#### ④セーリングカヌー乗船体験教室

プロセーラー西村一広氏を代表とするチームニシムラプロジェクト及び東京海洋大学ヨット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの乗船体験教室及びスキルアップ講習会を行った。

開催期間：平成27年5月・7月・9月・10月 4回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：363名

#### ⑤企画展示「和船・WASEN」

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや両国橋港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成27年7月18日～20日 3日間

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

入場者数：2,066名

#### ⑥「海の学び舎・わくわくキッズパーク」の開催

期間限定で「船の科学館別館展示場」の展示資料をハンズオンキットに模様替えするとともに、期間中の土曜・日曜日を中心に、海に触れる機会が少ない子供たちを対象と

して、触れて動かすことのできる展示や工作実験教室を開催し、楽しみながら海や船、海の生き物について興味・関心を持つ機会を提供した。

開催期間：平成27年8月1日～30日

【特別プログラム】（9プログラム全11回：全参加者数253名）

ア. 「ヨットの工作実験教室」

開催日：平成27年8月1日

参加者数：20名

イ. 「しょうのう船の工作実験教室」

開催日：平成27年8月2日

参加者数：17名

ウ. 「プラ板モビール工作実験教室」

開催日：平成27年8月8日

参加者数：16名

エ. 「生き物の海での暮らし方をのぞいてみよう」

開催日：平成27年8月9日

参加者数：22名

オ. 「工作実験教室 みずパワーが船を動かす」

開催日：平成27年8月12日

参加者数：30名

カ. 「ポンポン船の工作実験教室」

開催日：平成27年8月15日

参加者数：20名

キ. 「海と船のおはなし会」

開催日：平成27年8月16日

参加者数：40名

ク. 「ウミガメってどんな生き物？」

開催日：平成27年8月22日

参加者数：32名

ケ. 「この食べ物はどこからきたの？」

開催日：平成27年8月23日

参加者数：16名

コ. 「ポンポン船の工作実験教室」

開催日：平成27年8月29日

参加者数：20名

サ. 「プラ版モビール工作実験教室」

開催日：平成27年8月30日

参加者数：20名

⑦海と船のコンサート「SOYAFES」

幅広い年齢層に向けた新たな試みとして、夕暮れ時の“宗谷”船尾甲板を舞台に海や船をテーマにしたミニコンサートを開催し、音楽を通して海に親しむ機会を創出した。

開催日：平成27年9月23日

開催場所：初代南極観測船“宗谷”船尾甲板

参加者数：102名

(8) 共催・後援・協力事業

「海」「船」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力をを行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

①第6回青函連絡船講演会

開催期間：平成27年4月18日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主 催：青函連絡船史料研究会

参加者数：80名

②特別展「和船と船大工 江戸時代以降の日本の船」における展示資料解説及びギャラリートークの実施

開催期間：平成27年7月4日

開催場所：清水港博物館（フェルケール博物館）

主 催：一般社団法人清水港博物館

③舟艇の利用振興及び海洋教育の推進イベント「マリンチャレンジ」への参画

開催期間：平成27年7月11日～12日

開催場所：豊洲

主 催：UMI協議会

④「第52回関東地区中学生海の絵画コンクール」入賞作品展示

開催期間：平成27年7月17日～26日

開催場所：横浜みなと博物館ロビー

主 催：公益社団法人関東海事広報協会

⑤第20回「海の日」記念 特別展『日本全国、海、船、港の博物館大集合』

実行委員会への委員として参画及び出展

開催期間：平成27年7月18日～8月9日

開催場所：横浜みなと博物館

主 催：第20回「海の日」記念特別展実行委員会

⑥「第52回関東地区中学生海の絵画コンクール」特別賞以上の入賞作品展示

開催期間：平成27年7月30日～8月10日

開催場所：横浜第二合同庁舎1階ロビー

主 催：公益社団法人関東海事広報協会

⑦東京湾環境一斉調査

(東京港再生推進会議モニタリング分科会、東京湾岸自治体環境保全会議等)

開催期間：平成27年8月5日

開催場所：船の科学館“宗谷”桟橋付近

⑧「夏休み東京港親子社会科見学会」

開催期間：平成27年8月6日

開催場所：船の科学館、青海客船ターミナル他

主 催：東京都港湾局

参加者数：298名

⑨第14回水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成27年8月30日

開催場所：船の科学館 体験教室プール

主 催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会

参加者数：35名

⑩第6回坂東市サイエンスフェスティバルへの出展

開催期間：平成27年10月25日

開催場所：坂東市総合体育館

主 催：「サイエンスフェスティバル」実行委員会

⑪第16回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール入賞作品等の展示

開催期間：平成27年11月4日～8日

開催場所：船の科学館別館展示場

主 催：海上保安庁

見学者数：1,395名

⑫第7回青函連絡船講演会

開催期間：平成27年11月21日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主 催：青函連絡船史料研究会

参加者数：60名

⑬第16回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール応募作品の展示

開催期間：平成28年1月6日～13日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主 催：海上保安庁東京海上保安部

見学者数：1,621名

⑭ボートショー2016に係るUMI協議会ブースへの資料出展

開催期間：平成28年3月3日～6日

開催場所：パシフィコ横浜

主 催：一般社団法人 日本マリン事業協会

#### (9) 博物館活動への参加

①第22回全国博物館長会議

開催日：平成27年6月10日

場 所：文部科学省

②平成27年度第1回全国科学博物館協議会総会

開催日：平成27年6月11日

場 所：国立科学博物館

③みなどの博物館ネットワークフォーラム平成27年度通常総会

開催日：平成27年6月19日

場 所：名古屋海洋博物館

④日本フローティングシップ協会平成27年度定時総会

開催日：平成27年7月8日～9日

場 所：南極観測船“ふじ”

⑤東京都博物館協議会「常務理事会・理事会、総会」及び「見学研修会」

開催日：平成28年2月17日

場 所：東京国立近代美術館

## 2. 海の学びミュージアムサポート活動

海洋に関する国民の理解増進を図るために、全国の博物館・水族館・美術館等の社会教育施設で開催する「海の企画展」（海洋教育を意図した企画展・特別展）、「海の博物館活動」（海洋教育を意図した各種普及事業）及び「海の学び調査・研究」（海洋教育の実践を意図した事前活動）への支援を中心としたサポートを行った。

### ●事務局関係

(1) 「海の学びミュージアムサポート」現地調査

「海の学びミュージアムサポート」の各プログラム等事前説明、現地調査及びサポート活動に係る打合せを実施した。

(2) 「海の学びミュージアムサポート」ポスターの製作及び送付

「海の企画展」開催館の案内ポスターを制作し、全国の博物館等へ送付した。

(3) 「海の学びミュージアムサポート」事業案内チラシ製作及び送付

「海の学びミュージアムサポート」事業の展開に際し、その事業内容の周知を図る案内チラシを製作し、全国の博物館等へ送付した。

(4) 「海の学びミュージアムサポート」WEBサイトの運用

前年度に引き続き「海の学びミュージアムサポート」WEBサイトを運用し、事業内容周知及び事業成果公開を目的とした情報発信を行った。

### ●サポートプログラム関係

(1) プログラム1 「海の企画展サポート」

①帆船日本丸公開30周年記念「帆船日本丸と海洋教育展」

主 催：横浜みなと博物館

開催時期：平成27年4月25日～6月14日

場 所：横浜みなと博物館

入場者数：12, 698名

②海の博物誌～エビ・カニの博物画と研究最前線～

主 催：広島大学総合博物館

開催時期：①平成27年6月13日～20日

②平成27年6月23日～11月14日

場 所：広島大学総合博物館

入場者数：10, 061名（①1, 958名、②8, 103名）

③夏季特別企画展「奄美の海探検記—ミステリーサークルの謎—」

主 催：公益財団法人下関海洋科学アカデミー

開催時期：平成27年7月4日～9月23日

場 所：下関市立しものせき水族館

入場者数：207, 146名

④奈呉の浦の祈り—海のまつり

主 催：射水市新湊博物館

開催時期：平成27年7月10日～9月13日

場 所：射水市新湊博物館

入場者数：1, 176名

⑤群馬県立自然史博物館第49回企画展 「恐竜時代の海の支配者」

主 催：群馬県立自然史博物館

開催時期：平成27年7月11日～8月31日

場 所：群馬県立自然史博物館

入場者数：53, 024名

⑥ゆめぎんが・2015 夏の特別企画「海王展－海の支配者たちの系譜－」

主 催：佐賀県立宇宙科学館

開催時期：平成27年7月11日～9月27日

場 所：佐賀県立宇宙科学館

入場者数：132, 668名

⑦南極観測船ふじ開館30周年記念特別展「南極大陸と南極観測船ふじの航跡～「ふじ」が教えてくれたこと～」

主 催：公益財団法人名古屋みなと振興財団

開催時期：平成27年7月18日～9月27日

場 所：名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ

入場者数：51, 842名

⑧特別展示「干潟のいきもの～カブトガニのゆりかご～展」

主 催：笠岡市立カブトガニ博物館

開催時期：平成27年7月18日～9月30日

場 所：笠岡市立カブトガニ博物館

入場者数：20, 040名

⑨海星館20周年記念企画展・豊の海を知る

主 催：大分市関崎海星館

開催時期：平成27年7月21日～平成28年3月31日

場 所：大分市関崎海星館

入場者数：18, 882名

⑩新潟・兵庫連携企画展「北前船」—地域と文化をつなぐ海のみち—

主 催：「北前船」展実行委員会

開催時期：平成27年7月25日～11月3日

場 所：①新潟県立歴史博物館

②兵庫県立歴史博物館

入場者数：16, 755名（①6, 879名、②9, 876名）

⑪企画展「サメはこわい？おいしい？役に立つ？」

主 催：海の博物館

開催時期：平成27年9月12日～平成28年3月6日

場 所：海の博物館

入場者数：13, 624名

⑫特別展『海のようせい～プランクトンの世界～』

主 催：㈱海の中道海洋生態科学館

開催時期：平成27年12月1日～平成28年2月29日

場 所：マリンワールド海の中道

入場者数：111， 596名

⑬めぐみの海・瀬戸内海

主 催：愛媛県総合科学博物館

開催時期：平成27年12月12日～平成28年1月31日

場 所：愛媛県総合科学博物館

入場者数：3， 331名

⑭海に生きた歴史～復興発掘調査が語る一万年の海との共生～

主 催：岩手県立博物館

開催時期：平成28年1月14日～3月6日

場 所：岩手県立博物館

入場者数：8， 209名

⑮指宿まるごと博物館VII「海はすごい！琉球・南島との海物語」

主 催：指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ

開催時期：平成28年1月23日～3月6日

場 所：指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ

入場者数：1， 725名

⑯京大と学校現場で紡ぐ「アクティブ・ラーニング」をめぐる航海日誌『京のイル

カと学びのドラマ』

主 催：京都大学総合博物館

開催時期：平成28年1月27日～3月20日

場 所：京都大学総合博物館

入場者数：4， 060名

⑰平成27年度マリンサイエンスギャラリー

「毒をもつ海の生きものー食べるため・食べられないためー」

主 催：千葉県立中央博物館

開催時期：平成28年2月28日～3月15日

場 所：千葉県立中央博物館分館海の博物館

入場者数：3， 082名

⑱春休み特別展 海！！未来をひらく！海からの贈り物

主 催：科学技術館

開催時期：平成28年3月19日～4月7日（予定）

場 所：科学技術館

入場者数：17， 703名（3月31日現在）

※海の企画展サポート合計入場者数 687， 622名

## (2) プログラム2 「海の博物館活動サポート」

### ①高校生・大学生向け連続講座「海の学び舎」

主 催：葛西臨海水族園

実施時期：平成27年4月1日～平成28年3月31日

場 所：葛西臨海水族園

参加者数：148名

### ②全国のミュージアムと若者たちで育む、オーシャンキッズ！

主 催：こどもひかりプロジェクト

実施時期：平成27年8月25日～平成28年2月26日

場 所：アクアマリンふくしま、岩手県立児童館いわて子どもの森、他

参加者数：3, 541名

### ③ウミガメの移動教室

主 催：鴨川シーワールド

実施時期：平成27年5月31日～平成28年1月17日

場 所：鴨川市立田原小学校、鴨川市立東条小学校、他

参加者数：2, 690名

### ④『海の勉強会2015（うみべん2015）』

主 催：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

実施時期：平成27年5月7日～9月20日

場 所：青森市、平内町、野辺地町

参加者数：110名

### ⑤瀬戸内海 VS 日本海：兵庫の海の魅力発見・発信プロジェクト

主 催：兵庫県立人と自然の博物館

実施時期：平成27年5月1日～平成28年3月29日

場 所：兵庫県立人と自然の博物館、相生市野瀬干潟、他

参加者数：2, 507名

### ⑥海の生物を観て、学ぶ力を育てる教材作成と学びの実践事業

主 催：海の博物館

実施時期：平成27年5月1日～平成28年3月31日

場 所：鳥羽市鏡浦地区周辺

参加者数：69名

### ⑦めぐみの海・大阪湾に学ぼう

主 催：きしわだ自然資料館

実施時期：平成27年4月1日～平成28年3月31日

場 所：きしわだ自然資料館、阪南2区人工干潟、他

参加者数：3， 655名

⑧もっと知ろう関西の海・大阪湾探検隊出動

主 催：貝塚市立自然遊学館

実施時期：平成27年5月1日～平成28年2月28日

場 所：神戸市立須磨海浜水族園、淡路成ヶ島、他

参加者数：446名

⑨海の生き物にふれよう、食べよう、学ぼう

主 催：群馬県立自然史博物館

実施時期：平成27年11月1日～平成28年3月27日

場 所：群馬県立自然史博物館

参加者数：8，287名

⑩海洋ジュニアレンジャー育成プログラム～小さな力が海を育む～

主 催：すさみ海立エビとカニの水族館

実施時期：平成27年9月1日～平成28年6月30日（予定）

場 所：紀伊半島一帯の海岸線及び沿岸海域

参加者数：18名（3月31日現在）

⑪萩・海の学びトレインツアー

主 催：萩・海の学びトレインツアー実行委員会

実施時期：平成27年8月1日～12月6日

場 所：JR山陰本線・美祢線、萩市倉江浜、萩市須佐、萩博物館

参加者数：268名

⑫八戸市水産科学館マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ～“海の学び”プログラム～

ム～

主 催：八戸市水産科学館マリエント

実施時期：平成27年7月25日～平成28年3月14日

場 所：八戸市水産科学館マリエント、JAMSTECむつ研究所、他

参加者数：626名

⑬「海の学び」からはじめるまちづくり

主 催：真鶴町立遠藤貝類博物館

実施時期：平成27年7月1日～平成28年3月31日

場 所：真鶴町民センター、真鶴町商工会会議室、他

参加者数：125名

⑭ガイドブックを利用した臨海実習・海岸観察会

主 催：京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 京都大学  
白浜水族館

実施時期：平成27年8月1日～平成28年6月30日（予定）

場 所：京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 京都大学  
白浜水族館

参加者数：397名（3月31日現在）

⑯輝津館＆坊津学園「海洋教育」事業

主 催：南さつま市坊津歴史資料センター輝津館

実施時期：平成27年10月1日～平成28年2月15日

場 所：南さつま市坊津歴史資料センター輝津館、塩ヶ浦海岸、南さつま市立  
坊津学園

参加者数：271名

⑰一般および学校等団体対象の海の体験プログラムの充実・利用促進事業

主 催：のと海洋ふれあいセンター

実施時期：平成27年11月1日～平成28年6月30日（予定）

場 所：のと海洋ふれあいセンター

参加者数：一般へのプログラム提供開始は5月以降の予定

※海の博物館活動サポート合計参加者数 23, 158名

（3）プログラム3「海の学び調査・研究サポート」

①既存の小学生向け海洋教育実践シリーズプログラムの改善を目的とした評価に関する  
調査研究～評価デザインの作成とそれにもとづく評価実践～

実 施 者：葛西臨海水族園

実施時期：平成27年4月1日～平成28年2月28日

②「海にまもられた日本」—北方の海からの開国に関する基礎的研究—

実 施 者：神奈川県立歴史博物館

実施時期：平成27年6月1日～平成28年3月31日

③シーラカンスに関する進化生物学的研究

実 施 者：北九州市立自然史・歴史博物館

実施時期：平成28年1月10日～3月15日

④次世代へ受け継ぐ外国航路船員の知恵・経験～粟島海員学校OBが語る船員の仕事  
と日常～

実 施 者：香川高等専門学校

実施時期：平成28年2月1日～5月30日（予定）

⑤浮遊性巻貝の1種クリオネに関する分類学的研究

実 施 者：蘭越町

実施時期：平成28年3月1日～5月31日（予定）

### III. その他財団の目的達成に必要な事業

#### 1. 海洋及び船舶に関する研究

博物館の展示や教育普及は、調査研究と常に表裏一体であることから、当館が展示や教育普及の対象としているわが国の海と船の文化について、研究者と連携を図り調査・研究を継続した。本年度は、開催を予定している東京湾の和船をテーマにした展示に活用するため、東京湾周辺の博物館を対象とした写真資料等の調査を行った。

#### 2. 広報活動

船の科学館別館展示場及び初代南極観測船“宗谷”等の来場者の誘致を図るため、「海」「船」「環境」等をテーマとした行催事への共催・後援・協力を行うとともに、地元の教育機関、自治会、マスコミ等に広報活動を展開したほか、交通媒体の利用やテレビ、新聞・雑誌等の取材協力を行った。また、WEBを活用した情報発信を、より効果的に行うためにホームページの全面リニューアルを実施した。

##### (1) 標識掲出及び交通広告の実施

道路標識看板(港区・江東区)	2基
新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」案内看板	1基

#### 3. 諸施設の利用状況

来館者用駐車場(乗用車約400台と大型バス15台)の運営のほか、船の科学館別館展示場等で当財団発行資料の販売等を行った。

なお、本年度の船の科学館利用者は、以下のとおりとなった。

(1) 「船の科学館別館展示場」入場者数	87,683名
(2) 「初代南極観測船“宗谷”」乗船者数	78,695名
(3) 「カヌー操船体験教室」等催事参加者数	7,665名
<u>(4) その他共催・協力等の催事参加者数</u>	<u>7,231名</u>
合 計 (のべ人数)	181,274名

(「別館展示場」及び“宗谷”月別利用実績については別紙4のとおり。)

#### 4. その他

##### (1) 初代南極観測船“宗谷”移設

船の科学館至近の水域に13号地新客船ふ頭が整備されるのに伴い、初代南極観測船“宗谷”を対岸の桟橋に移設するための東京都との調整及び関係機関への申請・届出等を行った。

①移設に伴う「建築計画のお知らせ」標識看板の設置及び標識設置届の提出

・看板設置

設 置 日：平成27年9月30日

・設置届

提 出 日：平成27年10月7日

提 出 先：江東区長

②敷地外移設に伴う「認定申請書」の提出

提 出 日：平成27年10月27日

提 出 先：江東区長

③移設及び保存整備に係る船体部の調査作業

実 施 日：平成27年12月16日～17日

発 注 先：三菱重工業株式会社 横浜艦船改修部

④移設に係る「建築計画のお知らせ」標識看板の内容変更に伴う「標識変更届」の提出

提 出 日：平成28年1月12日

提 出 先：江東区長

⑤移設に伴う「確認申請書」（建築物）の提出

提 出 日：平成28年1月12日

提 出 先：江東区長

確認済証の受理：平成28年2月5日

⑥移設に伴う機能補償に係る協定書の締結

締 結 日：平成28年1月29日

締 結 先：東京都港湾局長

## （2）戦艦“陸奥”主砲の移設

横須賀市の団体「陸奥の会」より寄贈依頼を受けた「戦艦“陸奥”主砲」について、横須賀市と平成27年7月30日付で無償譲渡と移設に関する合意文書を取り交すと共に、同年12月25日付で同じく横須賀市と無償譲渡契約書を取り交し、正式に横須賀市に無償譲渡することとなった。現在、最終的な移送時期や移送方法等について協議を行っている。

①無償譲渡と移設に関する合意書の締結

締 結 日：平成27年7月30日

合 意 先：横須賀市長

②無償譲渡契約の締結

契 約 日：平成27年12月25日

契 約 先：横須賀市長

### 第 3 管理業務

#### 1. 基本財産

平成28年3月31日現在における基本財産は以下のとおりとなった。

なお、前年度からの増減については、有価証券期末時価評価による増(59,293,101円)によるものである。

内訳	前年度末	増減額	(単位：円) 当年度末
(1) 預金			
普通預金	2,384,370	—	2,384,370
定期預金	236,749	—	236,749
預金計	2,621,119	—	2,621,119
(2) 有価証券			
国債	1,465,502,608	62,770,756	1,528,273,364
地方債	633,931,906	△ 3,477,655	630,454,251
有価証券計	2,099,434,514	59,293,101	2,158,727,615
(3) 土地			
船の科学館敷地	6,926,223,802	—	6,926,223,802
合計	9,028,279,435	59,293,101	9,087,572,536

#### 2. 役員・評議員

この年度における役員及び評議員の異動状況は、次のとおりである。

##### (1) 役員

###### ①役員の選任

平成27年6月25日開催の第45回評議員会において現役員の任期満了に伴う次期役員（理事）の選任を行った結果、理事5名が選任（全員再任）された。

###### ②理事長及び常務理事の選定

平成27年6月26日開催の第139回理事会において理事長及び常務理事の選定を行った結果、理事長の選定については、候補者が推薦される状況になり次第、選定することとし、常務理事に鈴木浩司理事が選定された。

（平成28年3月31日現在の役員は別紙1のとおり。）

##### (2) 評議員

###### ①評議員の選任

平成27年6月25日開催の第45回評議員会において、評議員として前田晃氏が選任された。

役職	氏名	選任年月日	備考
評議員	前田晃	平成27年6月25日	公益財団法人日本財団 常務理事

(平成28年3月31日現在の評議員は別紙2のとおり。)

### 3. 会議

この年度における理事会及び評議員会の開催状況は、次のとおりである。

#### (1) 理事会

##### ①第138回理事会

ア. 日 時 平成27年6月9日 11時00分～11時45分  
 イ. 場 所 船の科学館 会議室  
 ウ. 審議事項

第1号議案 平成26年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 第45回評議員会の開催に関する件

##### ②第139回理事会

ア. 日 時 平成27年6月26日 11時00分～11時15分  
 イ. 場 所 船の科学館 会議室  
 ウ. 報告事項

・第45回評議員会の開催状況について

・戦艦“陸奥”主砲の譲渡について

##### エ. 審議事項

第1号議案 「理事長及び常務理事の選定」に関する件

##### ③第140回理事会

ア. 日 時 平成27年10月23日 11時00分～11時30分  
 イ. 場 所 船の科学館 会議室  
 ウ. 報告事項

・平成27年度上半期の実施事業について

##### エ. 審議事項

第1号議案 「日本財団に対する平成28年度助成金の交付申請」の議決に関する件

##### ④第141回理事会

ア. 日 時 平成28年3月9日 11時00分～11時30分  
 イ. 場 所 船の科学館 会議室  
 ウ. 報告事項

・平成27年度下半期の実施事業について

#### エ. 審議事項

第1号議案 「平成28年度事業計画」の議決に関する件

第2号議案 「平成28年度収支予算」の議決に関する件

#### (2) 評議員会

##### ①第45回評議員会

ア. 日 時 平成27年6月25日 14時00分～15時00分

イ. 場 所 笹川記念会館 一般財団法人日本モーターボート競走会 6階会議室

ウ. 報告事項

- ・平成26年度事業報告について

#### エ. 審議事項

第1号議案 平成26年度決算の承認に関する件

第2号議案 次期理事の選任に関する件

第3号議案 評議員の選任に関する件

### 4. 平成27年度における助成金の交付

この年度においては、日本財団より次のとおり助成金の交付を受けた。

また、「基盤整備事業」は平成29年3月31日まで、「海の学びミュージアムサポート」事業は平成28年7月31日まで日本財団の許可を受け事業延長となったため、返還額は未定である。

(単位：円)

内訳	当初助成金決定額	返還額	返還後助成金額
1号交付金			
基盤整備	305,000,000	—	305,000,000
博物館の機能整備	26,850,000	—	26,850,000
海の学びミュージアムサポート	142,770,000	—	142,770,000
合計	474,620,000	0	474,620,000

### 5. 平成28年度助成金の交付申請

日本財団に対する平成28年度助成金の交付申請については、次のとおり行った。

(平成27年10月29日)

#### 1号交付金

基盤整備 230,620,000 円

博物館の機能整備 28,500,000 円

海の学びミュージアムサポート 148,210,000 円

---

合計 407,330,000 円

## 6. 諸願・届出

### (1) 公益社団法人及び公益財団法人認定等に関する法律に基づく届出

内閣総理大臣宛届出

①事業報告等の提出

平成26年度事業報告・決算書

平成27年6月28日

②変更届出書

評議員の変更(就任)

平成27年7月22日

③事業計画書等の提出

平成28年度事業計画書・収支予算書

平成28年3月15日

### (2) 施設管理に係る諸願・届出

①平成25年度事業報告

東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課宛提出

平成27年6月17日

②昇降機定期検査報告書(建築基準法第12条第3項)

東京都知事宛届出

平成27年11月30日

③海域放流水水質試験報告書

東京都公営企業管理者下水道局長宛届出

平成27年12月3日

④改修(計画)報告書

東京消防庁大井消防署長宛届出

平成28年2月9日

⑤消防用設備等設置届出書

東京消防庁大井消防署長宛届出

平成28年3月11日

⑥統括防火管理者選任届出書

東京消防庁大井消防署長宛届出

平成28年3月25日

⑦全体についての消防計画作成届出書

東京消防庁大井消防署長宛届出

平成28年3月25日

⑧減量査定申請書(更新)

東京都公営企業管理者下水道局長宛届出

平成28年3月25日

## 7. 登記

### (1) 評議員選任登記(第45回評議員会選任)

平成27年7月3日

### (2) 代表理事就任の登記(第139回理事会選定)

平成27年7月3日

### (3) 理事選任登記(第45回評議員会選任)

平成27年7月3日

## 8. 情報開示

財団のホームページに、「定款」、「役員名簿」、「評議員名簿」、「事業及び財務等に関する資料」並びに『「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について』を掲載した。

## 9. 外部監査

公認会計士篠原通夫氏と平成27年度事業に関する監査契約を締結し、監査を受けた。

## 10. 事務局

平成28年3月31日現在における事務局の機構は別紙3のとおり2部3課制、職員数は8名（ほか契約職員3名）である。

## 11. 施設管理業務

### ①屋内外清掃管理

委託業者：小林産業株

期 間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：屋外及び本館3階事務所等の清掃、塵芥廃棄物処理作業

### ②警備

委託業者：K S P・W E S T株

期 間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：館内外及び展示物等の警備業務

### ③施設の衛生消毒

委託業者：銀座化成産業株

期 間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

内 容：本館・宗谷・別館展示場の衛生消毒